

マウイ島火災リカバリー

第1段階完了

2023年11月30日



マウイ島は私たちに多くの恩恵をもたらしてくれました。
その感謝の気持ちを込めて、今、私たちは支援することを誇りに思います。

連邦緊急事態管理庁 (FEMA) は、米国環境保護庁 (EPA) にマウイ島の山火事の影響を受けた土地や家屋の有害物質を調査し、除去と廃棄を行うように命じました。これは第1段階と呼ばれます。

EPAは第1段階の任務を完了しました。これは、瓦礫の撤去、そしてラハイナ地区と内陸部のコミュニティ再建に向けた大きな一歩となります。

第1段階 – EPAによる有害物質除去

第2段階 – 米国陸軍工兵隊 (Army Corps) による瓦礫除去

米国沿岸警備隊からの支援を受け、マウイ・カウンティとハワイ州保健局と連携しながら、EPAとその請負業者（うち半数は地元雇用者）は、以下の項目を達成しました。

1. 火災の被害を受けた地域の、表層レベルの一般家庭の有害物質の調査、除去と廃棄を行いました。

EPAは、1,374軒の住宅と74の商業施設の有害物質の除去を完了しました。第1段階で回収された有害物質は、EPAの一時保管場所で徹底的に処理・梱包されました。有害物質を含んだ輸送用コンテナ13個が、安全に廃棄処分を行うためにマウイ島外に輸送されました。

73軒の住宅と100の商業施設については、物理的な条件によって安全なアクセスが不可能だったため、EPAは有害物質除去を延期してArmy Corpsに対処を委ねました。住民がこれらの土地や家屋に立ち入るには、危険な状況への対策が行われて有害物質が除去された後で、マウイ・カウンティとArmy Corpsと連絡を取り合う必要があります。



電話番号: 808-539-0555

メール: R9Wildfiresinfo@epa.gov

ウェブサイト: epa.gov/maui-wildfires

2. マウイ島の山火事によって被害を受けた家庭用蓄電池システム、電気自動車およびハイブリッド車のリチウムイオン電池や高電圧電池の除去と廃棄。

EPAは、94台の電気自動車とハイブリッド車、そして274の家庭用蓄電池システムからバッテリーを除去しました。EPAは、最先端技術を使った手順を開発して、バッテリーを通電解除して使用停止し、マウイ島外に安全に輸送しました。使用停止された30トン以上のバッテリーが、2つの輸送コンテナによってマウイ島から搬出されました。



3. 焼失した建物の灰の範囲への、土壌安定剤の塗布と再塗布。

EPAは、灰に含まれる有害な汚染物質から人々の健康と環境を守るために、ソイルタック®の塗布を行っています。かき乱された場所では、ソイルタック®が再塗布されています。第2段階期間中に、Army Corpsが他の瓦礫とともにソイルタック®を除去します。

ソイルタック®は水性で、灰と瓦礫を接着します。この製品は、焼けた物質や瓦礫の表面に透明で耐水性のある被膜を作り、有害物質が他の場所へ飛散するのを防ぎます。



EPAは有害物質の大部分を除去しましたが、一部は残っている可能性があります。再入場時にご自身の土地や家屋を訪れる際には、慎重に行動してください。QRコードをスキャンして、遭遇する可能性のある危険全般についてのビデオをご覧ください。



文化的配慮プログラム:

今回の山火事への対策のあらゆる面で、マウイ島の大切な文化的資源と慣習を守り保護するために、EPAは文化的配慮プログラムを開発して実践しました。このプログラムには、現場での作業を監視するための20名以上の文化監視員の雇用、すべてのEPA職員や請負業者、米国沿岸警備隊からの支援要員に対する文化的配慮トレーニング受講の義務づけ、そしてEPAのコミュニティ参加プログラムに対する地元リーダーシップからの文化的助言などが含まれています。毎日、焼失地区での作業前と作業後には、現場スタッフとともに、ハワイの祈りと祝福である「プーレ」が行われました。この文化的配慮プログラムは、本対策において極めて重要であり、復興の次の段階でも継続されます。

有害物質除去というEPAの緊急対策任務は完了しましたが、ソイルタック®と他の作業は継続されます。EPAは、水道インフラや持続可能な復興など、マウイ島の復興の取り組みを長期的に支援するためのリソースの提供に尽力していきます。

第2段階について質問等がございましたら、陸軍工兵隊 (Army Corps) にご連絡ください:

ウェブサイト: <https://www.poh.usace.army.mil/Missions/Emergency-Response/Hawaii-Wildfires/>

電話番号: 877-214-9117